

日本の女性研究者の現状と課題

ナイスステップな研究者2008シンポジウム
2009年5月26日

○日本の男女共同参画社会基本法

平成11年6月23日

○男女共同参画基本計画

男女共同参画会議による答申(平成17 年)

○科学技術基本計画

総合科学技術会議に於ける審議, 答申(平成17 年)

平成18年-22年度の5年間の計画の閣議決定(平成18 年)

第3期 科学技術基本計画のポイント

=女性の活躍促進

- 競争的資金の受給において、出産育児を伴う研究の中断や期間延長など、女性研究者に配慮した措置の拡大
- 環境整備や意識改革などのモデルとなる大学の取り組み
- 大学などに於いて、女性研究者の積極的採用、登用の促進
自然科学全体で採用目標25%を期待
- 女子の科学技術分野への興味喚起に資する取り組みの強化、ロールモデル情報の提供.

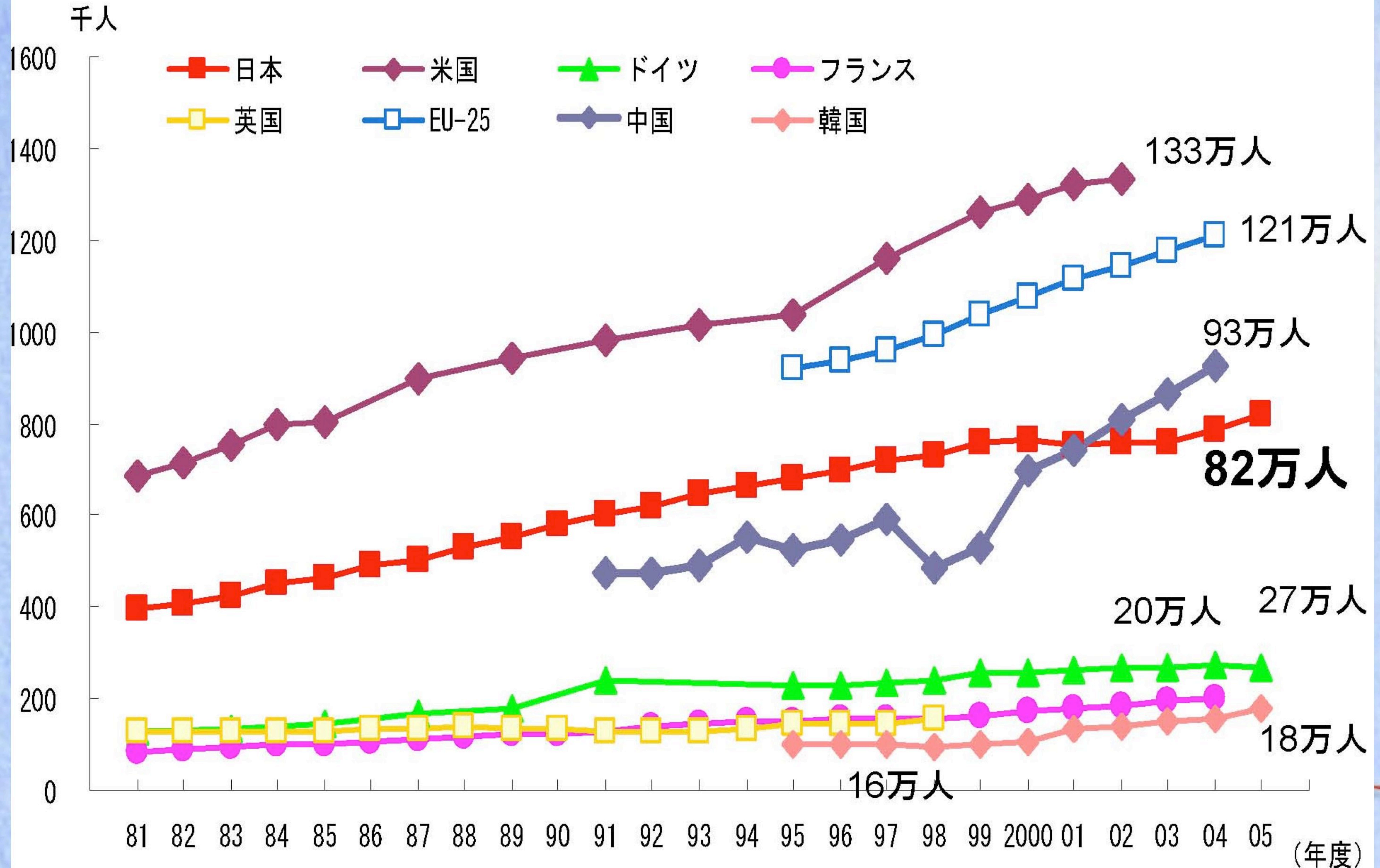
○ 経済協力開発機構(OECD)
平成20年の日本の情勢をまとめた「日本ノート」
(20年7月2日付共同通信発) の記載

日本では25～54歳の女性の就業率 67.4%,
男性の就業率が93.0%- →男女間の格差

しかし大学など高等教育を受けた女性42.5%
(OECD加盟国平均の28.5%を大きく上回る)

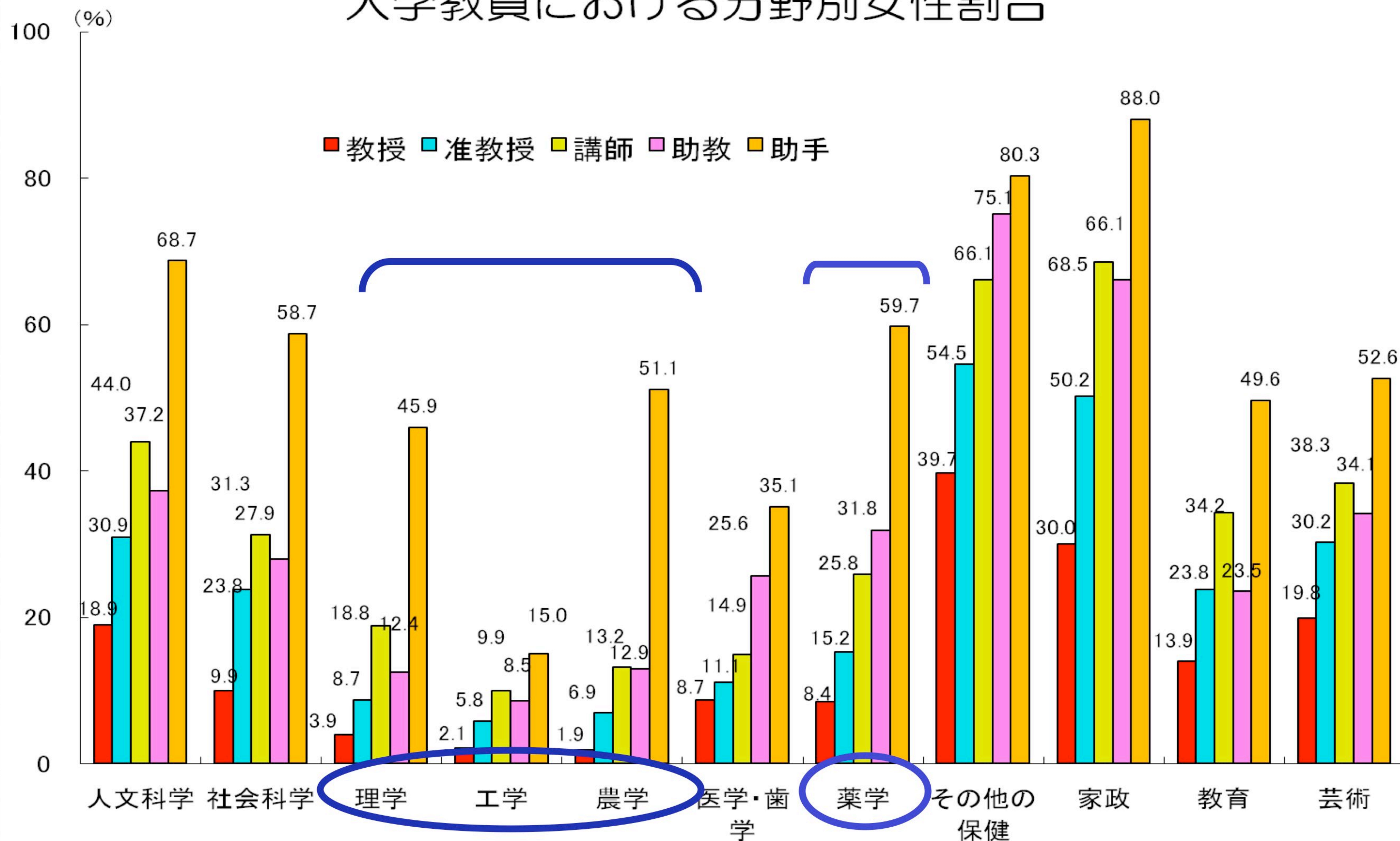
日本女性は男性と同等の高い教育を受けて
いるにも拘らず、就業率が極めて低く、学
歴の高い人材の浪費である と書かれた

主要国等における研究者数の推移



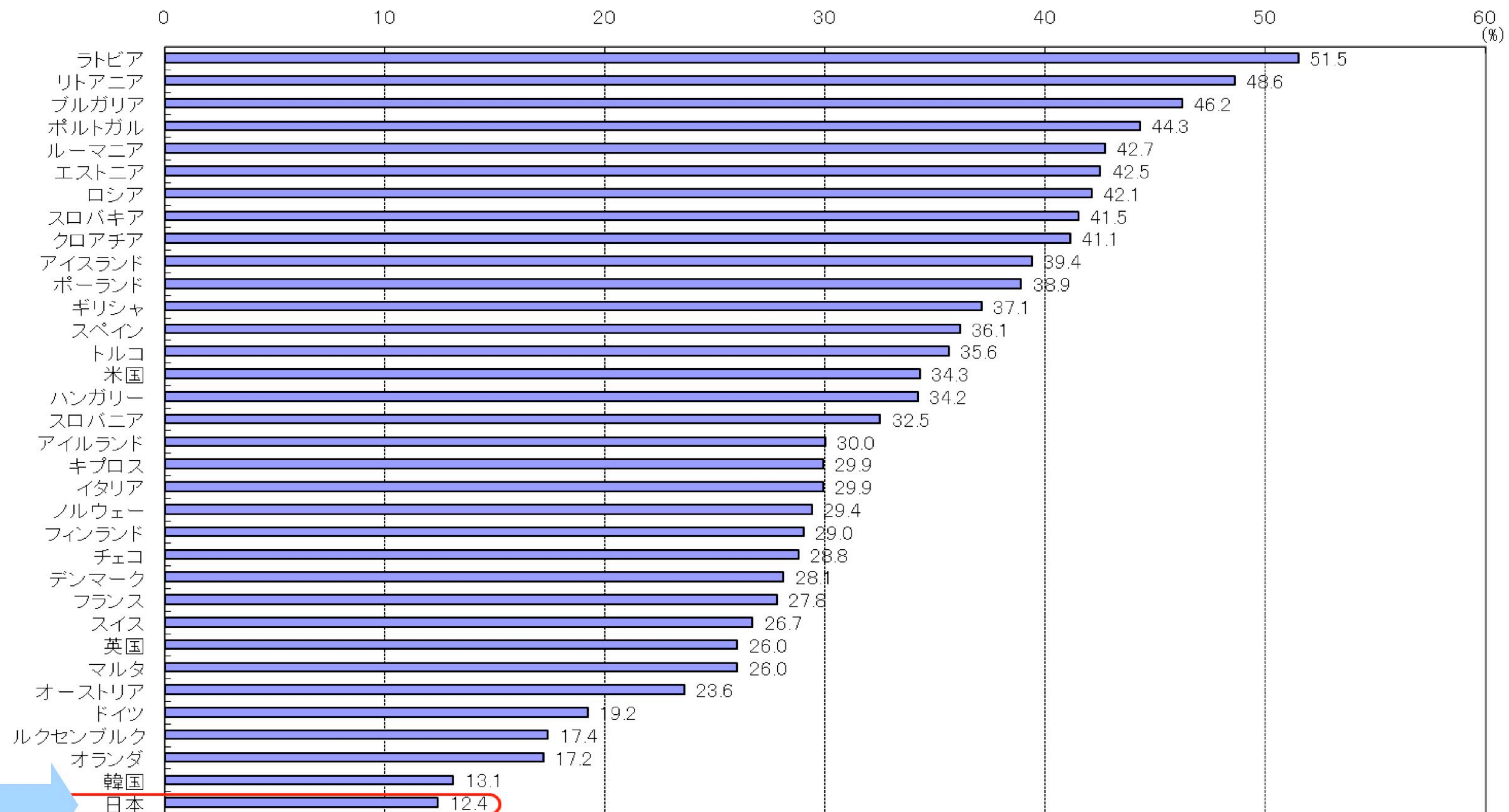
日本の女性教員・研究者は少ない

大学教員における分野別女性割合



(備考) 文部科学省「学校基本調査」(平成19年度)より作成

研究者に占める女性割合(日本の数値は平成19)



- (備考) 1. EU諸国の値は、英国以外は、Eurostat2007/01に基づく。推定値、暫定値を含む。ラトビア、リトアニア、スロバキア、ハンガリー、チェコ、マルタは平成17年(2005年)、ポルトガル、アイスランド、ギリシャ、アイルランド、ノルウェー、デンマーク、ドイツ、ルクセンブルク、オランダは平成15年(2003年)、トルコは平成14年(2002年)、その他の国は平成16年(2004年)時点。英国の値は、European Commission "Key Figures 2002"に基づく(平成12年(2000年時点))。
2. 韓国及びロシアの数値は、OECD "Main Science and Technology Indicators 2007/2"に基づく(2006年時点)。
3. 日本の数値は、総務省「平成19年科学技術研究調査報告」に基づく(平成19年(2007年)3月時点)。
4. 米国の数値は、国立科学財団(NSF)の「Science and Engineering Indicators 2006」に基づく雇用されている科学者(scientists)における女性割合(人文科学の一部及び社会科学を含む)。平成15年(2003年)時点の数値。技術者(engineers)を含んだ場合、全体に占める女性科学者・技術者割合は27.0%。

日本は12.4%で先進国中最低

● 日本の女子の大学生総数

平成2年度 55.5 万人,
平成17年度 100.9万人,
平成20年度 114.0万人と増え続けている。

● 日本の女子の大学院生総数(平成20年度)

修士課程(博士前期課程)

理学系専攻 院生総数 13,736人,

工学系専攻 65,277人.

修士の理学系専攻のうち女子 22.1%,

工学系専攻 女子 10.3%

博士課程(博士後期課程)

理学系専攻 院生総数 5,313人,

工学系専攻 13,755人.

博士の理学系専攻のうち女子 17.4%,

工学系専攻 女子 13.3%

科学技術系専門職における 男女共同参画実態の大規模調査

男女共同参画学協会連絡会による
平成19年8月～11月のアンケート調査
(平成20年7月の報告書@文科省)

- 回答数 14,110件(男性73.3% 女性26.7%)
- 理科系の学会、協会における調査
- いずれの学会においても

女性の回答率 > その学会の女性会員比率

つまり女性が熱心に回答

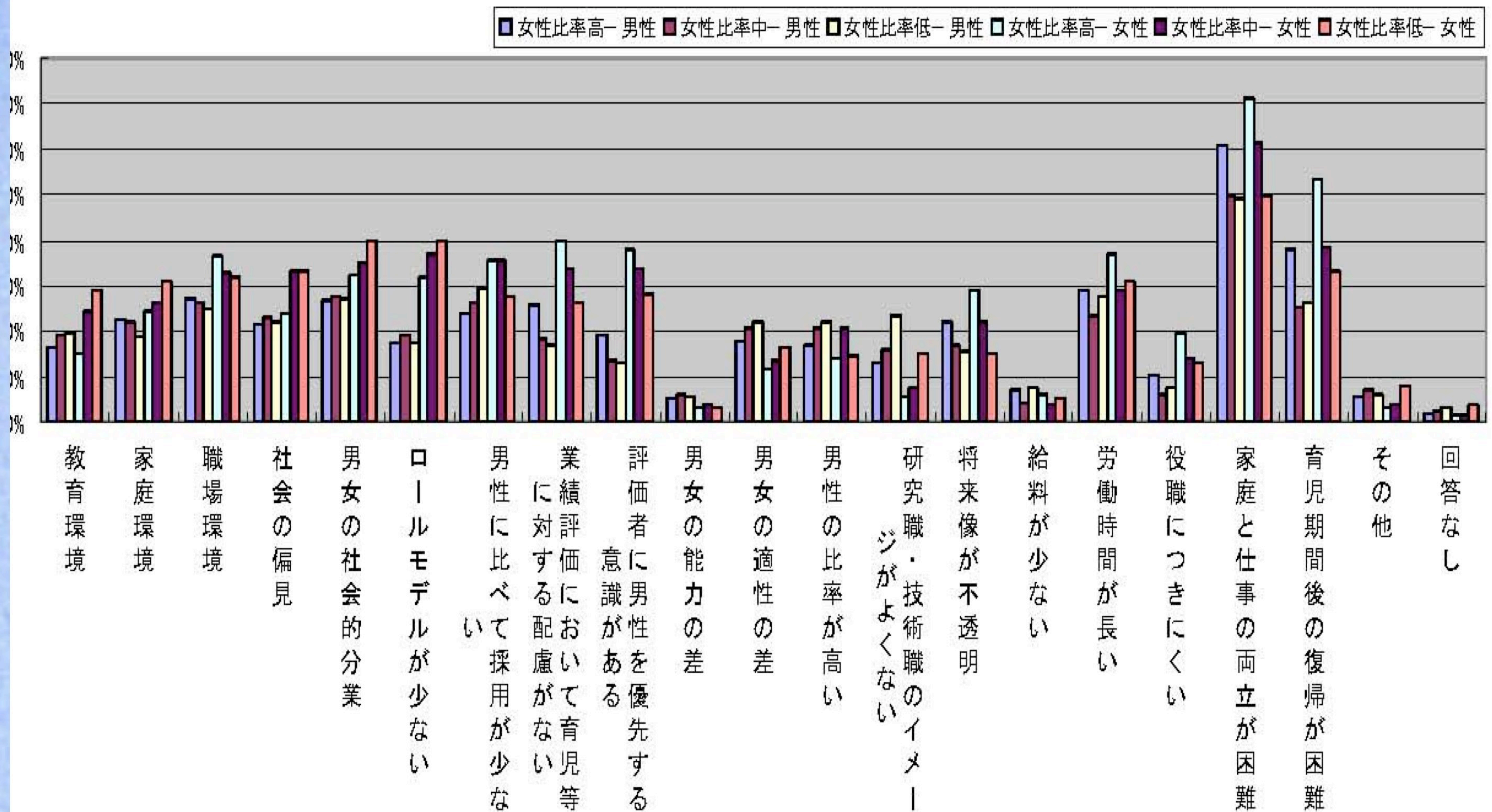


図 1.84 女性研究者が少ない理由ー女性比率の異なる分野別

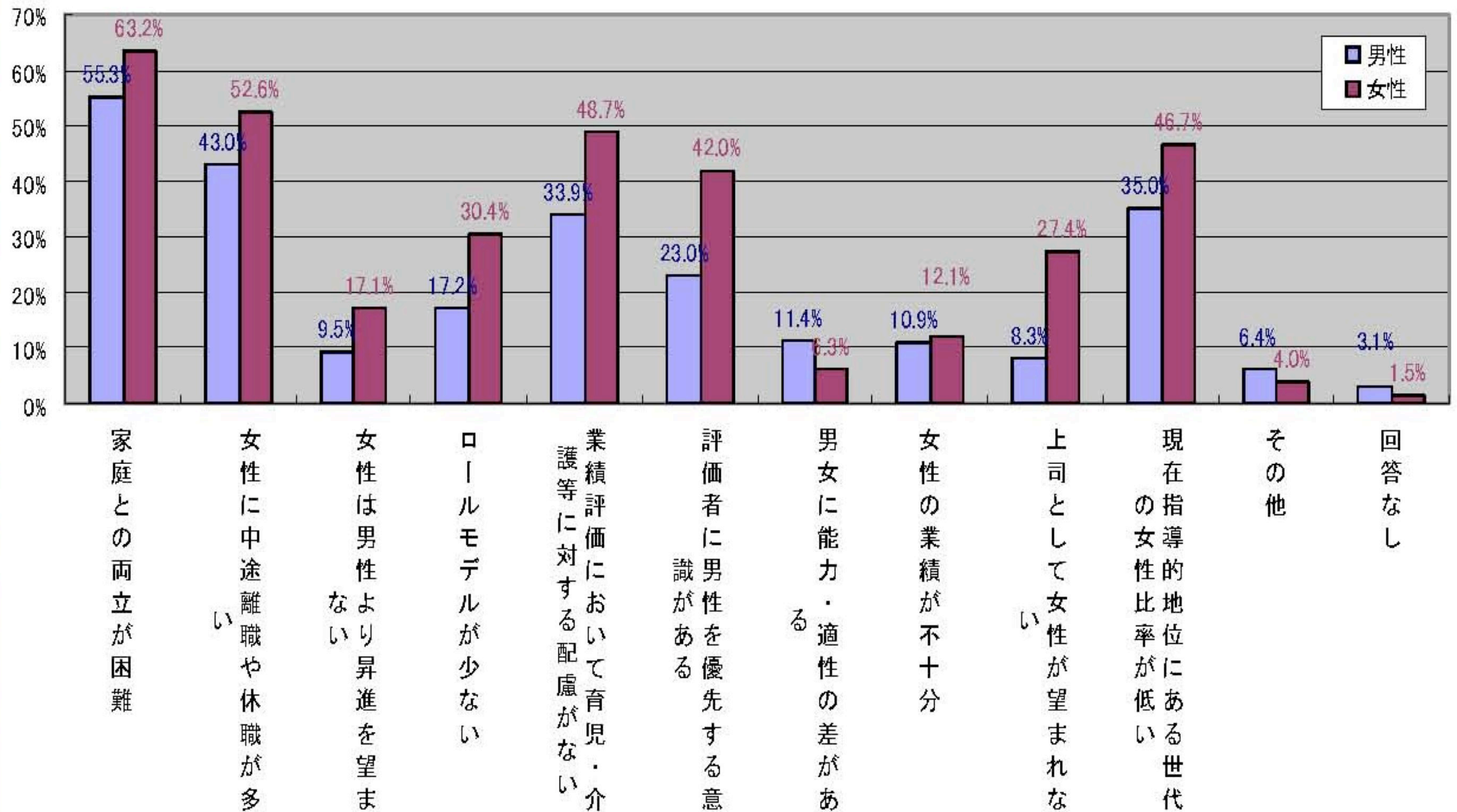
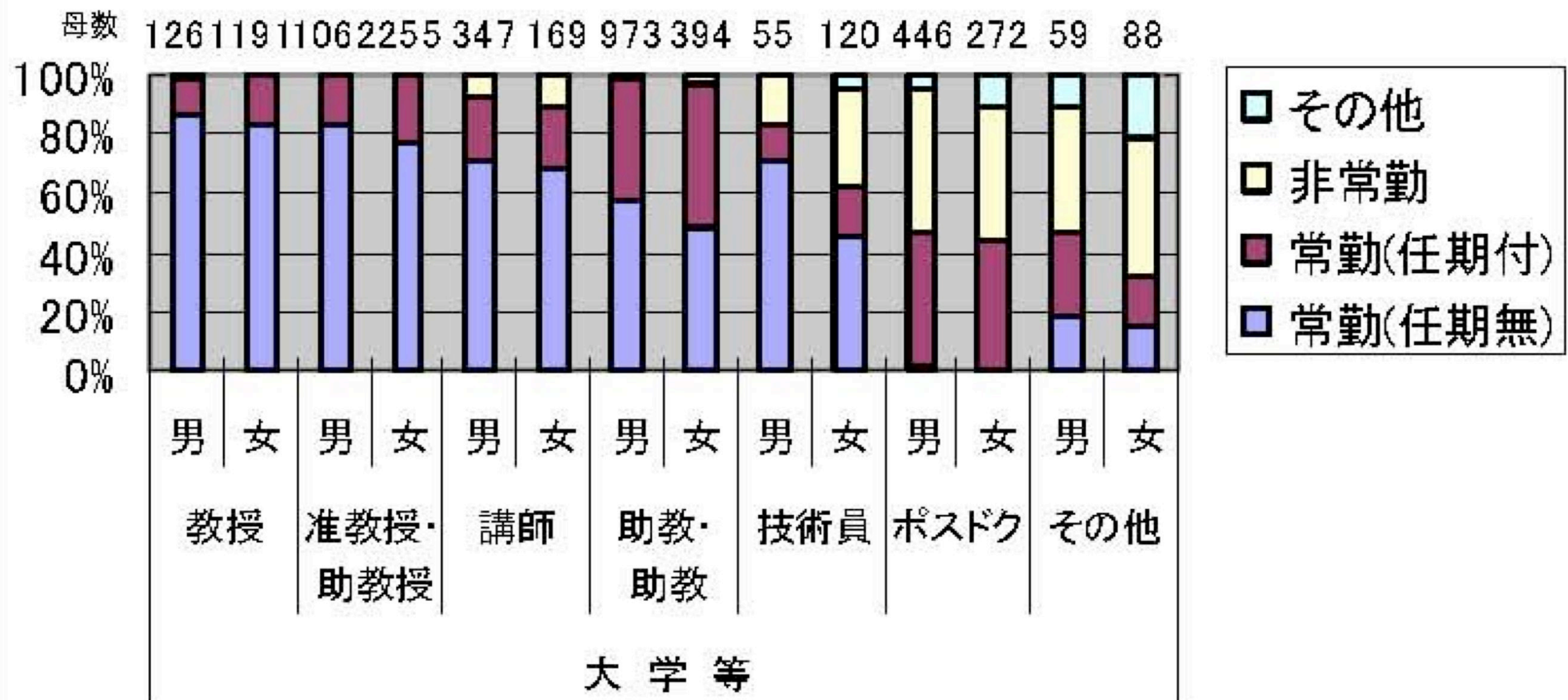


図 1.85 指導的地位の女性比率が低い理由

任期付の職に於ける男女差



研究者年収に於ける男女差

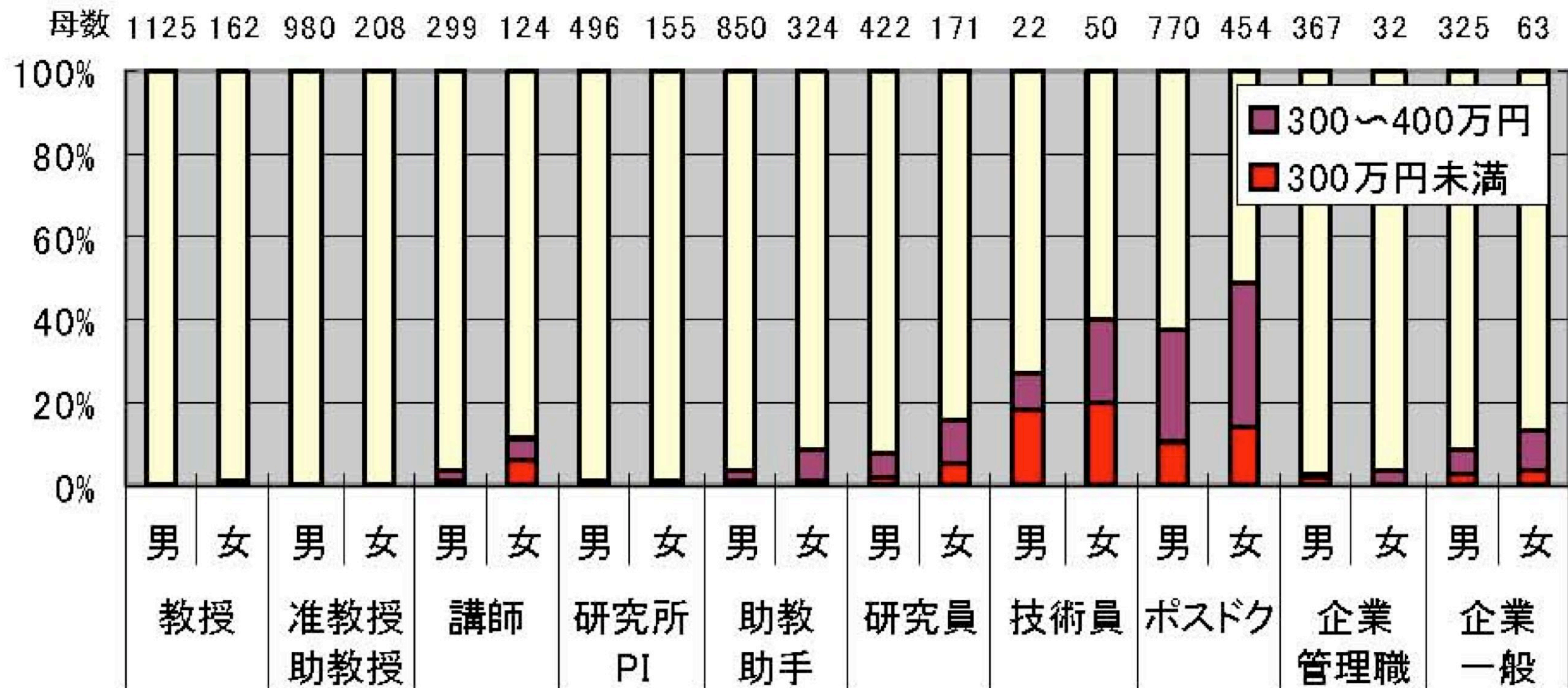


図 4.17 学位取得者のうち、在職場時間が週40時間以上で、かつ年収400万円以内のものの割合(役職別、男女別)
(赤：年収300万円未満、紫：年収300～400万円)

数学者に於ける女性の割合

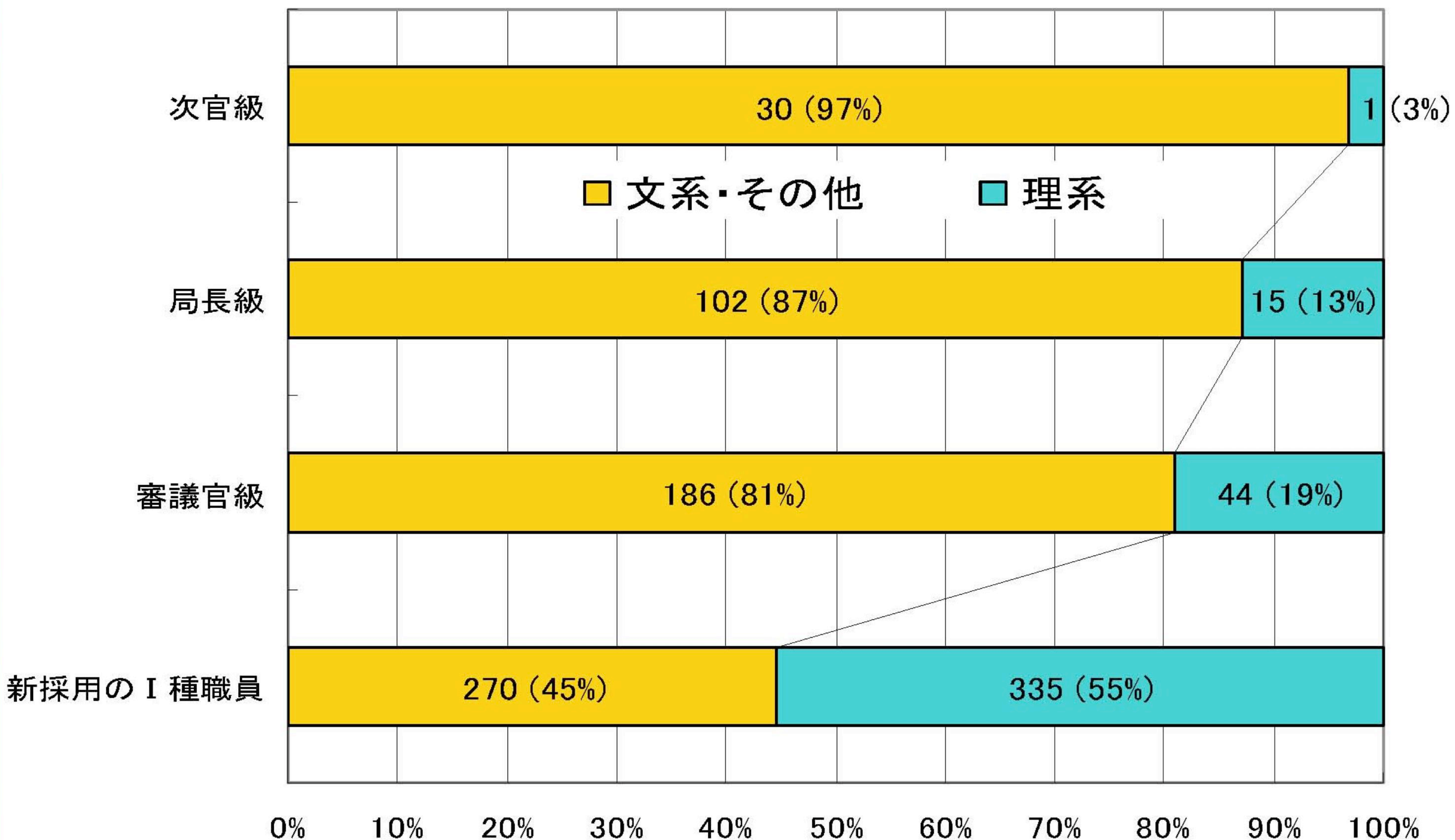
日本は先進国中 下位2位

	数学者の数				正教授 (Professor)			助教授+講師		
アゼルバイジャン	1449	194	13.4%		224	11	4.9%	1225	183	14.9%
スウェーデン	637	79	12.4%	4.7%	166	7	4.2%	471	72	15.3%
ノルウェー	134	16	11.9%	8.7%	53	2	3.8%	81	14	17.3%
アイルランド	173	18	10.4%	5.2%	45	0	0%	128	18	14.1%
オランダ	458	45	9.8%	4.3%	120	3	2.5%	338	42	12.4%
デンマーク	237	23	9.7%	3.3%	53	2	3.8%	184	21	11.4%
オーストリア	228	21	9.2%	7.1%	32	1	3.1%	196	20	10.2%
アメリカ	2083	173	8.3%		1403	64	4.5%	680	109	16.0%
スイス	119	8	6.7%	2.1%	97	3	3.1%	22	5	22.7%
日本	494	13	2.6%		193	3	1.5%	301	10	3.3%
アイスランド	13	0	0%	0%	7	0	0%	6	0	0%

数学者に於ける女性の割合 日本は先進國中下位2位

国名	数学者の数				正教授 (Professor)			助教授+講師		
	合計	F	F%05	F%93	合計	F	F%05	合計	F	F%05
フィリピン	207	113	54.6%		41	23	56.1%	166	90	54.2%
ポルトガル	906	431	47.6%		84	27	32.1%	822	404	49.1%
エストニア	250	88	35.2%	29.4%	19	2	10.5%	231	86	37.2%
イタリア	2476	867	35.0%	35.3%	823	124	15.1%	1653	743	44.9%
マルタ	28	9	32.1%		3	0	0%	20	8	40.0%
スペイン	1331	358	26.9%	15.6%	139	18	12.9%	1192	340	28.5%
チェコ	1013	267	26.4%	12.0%	138	3	2.2%	875	264	30.2%
ベルギー	337	84	24.9%	13.7%	38	3	7.9%	299	81	27.0%
フランス	3740	860	23.0%	20-25%	1168	120	10.3%	2572	740	28.8%
南アフリカ	264	56	21.2%		59	4	6.8%	205	52	25.4%
英国	2909	520 *	17.9%	7.0%	561*	16 *	2.9%	2348 *	504 *	21.5%
リトアニア	321	56	17.4%		56	1	1.8%	265	55	20.8%
オーストラリア	1006	170	16.9%		418	15	3.6%	588	155	26.4%
ニュージーランド	179	27	15.1%		57	3	5.3%	122	24	19.7%
ドイツ	4116	600	14.6%	2.7%	1388	95	6.8%	2728	505	18.5%
フィンランド	440	64	14.5%	2.4%	71	2	2.8%	369	62	16.8%
カナダ	2077	290	14.0%		670	59	8.8%	1407	231	16.4%
大韓民国	1493	206	13.8%		832	52	6.3%	661	154	23.3%

官界における文系・理系出身者の割合（ポスト別）



（備考）2001年7月現在、自民党の小委員会の資料から

「理系白書」(講談社)より

**では、日本の女性研究者の登用拡大には
何が必要か　??**

例えば　採用する側にもっと女性を！

**政府の第二次男女共同参画基本計画
＝2020年までに指導的地位に女性が占める
割合を30%以上に増やし、政策・意思決定
過程への女性の参画の拡大をはかる**

**―> システム改革加速プランという
女性研究者支援の新しい大型予算**

平成21年度は5大学採択（北大，京大，東北大，東京農工大，九大）

平成20年度 文部科学省 科学技術振興調整費

女性研究者支援モデル育成

『キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル』

本構想 の 目的

産業界を含む多様な女性研究者の人材開発
男女共同参画・女性研究者支援のユニバーサル化
次世代の継続的な育成

多様な人材の積極的な活用による
イノベーション創出

男女ともに能力を最大限に発揮
できる男女参画社会の実現

子供を産み育てやすいワーク・ライフ・
バランスに配慮した職場環境設備

研究代表者：
日本大学総長 酒井健夫



平成20年度 文部科学省科学技術振興調整費

女性研究者支援モデル育成

『キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル』

日本大学は
女性研究者支援と男女共同参画、
および次世代女性研究者の育成
を推進します！

日本大学女性研究者支援推進ユニット推進コア

〒102-8251 東京都千代田区五番町12-5 日本大学会館第2別館

E-mail: shien@nihon-u-c.jp

http://www.nihon-u.ac.jp/kenkyu/danjo/index.html

IT支援

子育て支援

キャリアUPサポート

ワーク・ライフ・バランス

連携と継続



平成20年度 文部科学省科学技術振興調整費 女性研究者支援モデル育成

『キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル』構想内容

本構想
の
目的

産業界を含む多様な女性研究者の人材開発
男女共同参画・女性研究者支援のユニバーサル化
次世代の継続的な育成

具体的取り組み

意識改革

全学的な推進体制構築と意識環境整備を実施します。

- 相談体制の充実
- 女性研究者支援推進体制整備
- 意識改革講演会・男女共同参画シンポジウム開催

次世代女性研究者育成

理系選択支援（入口）から産業界を含めた多様な職業選択と継続（出口）までの実効的支援により、次世代の継続的な育成とイノベーション創出を目指します。

重要推進整備

『キャリアウェイ』3ステップモデル

女性研究者の増加と地位向上

ジャンプ

ステップ

ホップ
中高生に理系への興味を促す
出前授業、実験教室

ステップ
理系学部、大学院への進学促進と理系キャリア教育
実地体験、ロールモデル

ステップ
育児支援、ワーク・ライフ・バランス、キャリアUP、再チャレンジ

入口から出口までしっかりサポート

IT支援

ITを利用した職場環境整備に努めます。

- 18キャンパスに点在する女性研究者をネットワーク化
- ISMS準拠による高いセキュリティを確保
- 時間の有効活用
- コミュニティ形成や子育て・生活相談体制の強化

ブログ・掲示板

ネット遠隔会議

女性研究者支援
SNS
(Social Network Service)

情報収集・発信

ワークシェア・在宅勤務

キャリアUPサポート

女性研究者の積極的採用と地位向上のために、実力を高め国際的視野を広げるキャリアUP支援を行います。

出産・育児 子育て 介護

ライフイベント中でも継続・発展できるよう支援

継続研究

- 研究補助者配置
- メンタリング・コーチング
- 業績作成支援
- ネットワーク形成促進
- 研究費獲得戦略
- 国際化推進

女性研究者の積極的採用
地位向上
実力向上

育児両立環境整備

女性研究者が多様な働き方ができる育児支援事業を実施します。

- 保育室整備の調査・検討
- 病児保育の調査・検討
- ワークシェアや短時間勤務などの検討



産業界との連携と継続

学内関係部署、多数の部科校、校友会との連携により、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境整備と女性研究者の継続的な支援を内外に広めます。

- 多様なキャリアを持つ卒業生100万人の人材ネットワークの活用

多様な人材の積極的な活用による
イノベーション創出

男女ともに能力を最大限に発揮
できる男女参画社会の実現

子供を産み育てやすいワーク・ライフ・
バランスに配慮した職場環境整備



日本大学女性研究者支援推進ユニット推進コア <http://www.nihon-u.ac.jp/kenkyu/danjo/index.html>

IT支援

ITを利用した職場環境整備に努めます。

- 18キャンパスに点在する女性研究者をネットワーク化
- ISMS準拠による高いセキュリティを確保
- 時間の有効活用
- コミュニティ形成や子育て・生活相談体制の強化

ブログ・掲示板

ネット遠隔会議

女性研究者支援
SNS
(Social Network Service)



情報収集・発信

ワークシェア・在宅勤務

女性研究者支援SNS (Social Network Service)

- * 18拠点に広がる日本大学キャンパスに点在する女性研究者をネットワーク化
- * ワークシェアや在宅勤務も視野に入れた人的・情報通信ネットワークの有機活用
- * 高いセキュリティ確保！IT支援推進
- * 女性研究者支援推進ユニットの活動と、女性研究者の環境改善・地位向上に貢献

ブログ(日記)・掲示板

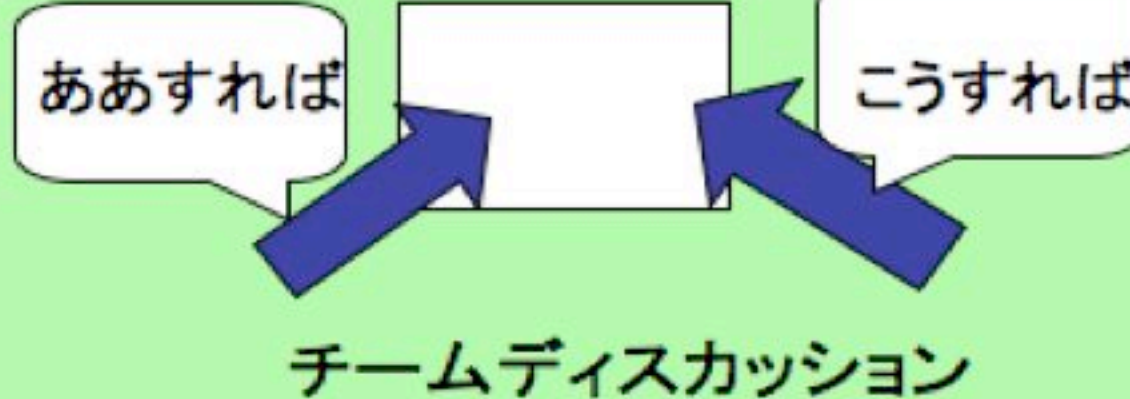
子育て・生活
相談体制



各種コミュニティの
形成と運営

研究キャリアUP
業績作成支援

ネット 遠隔会議
簡易HP、画像&動画共有

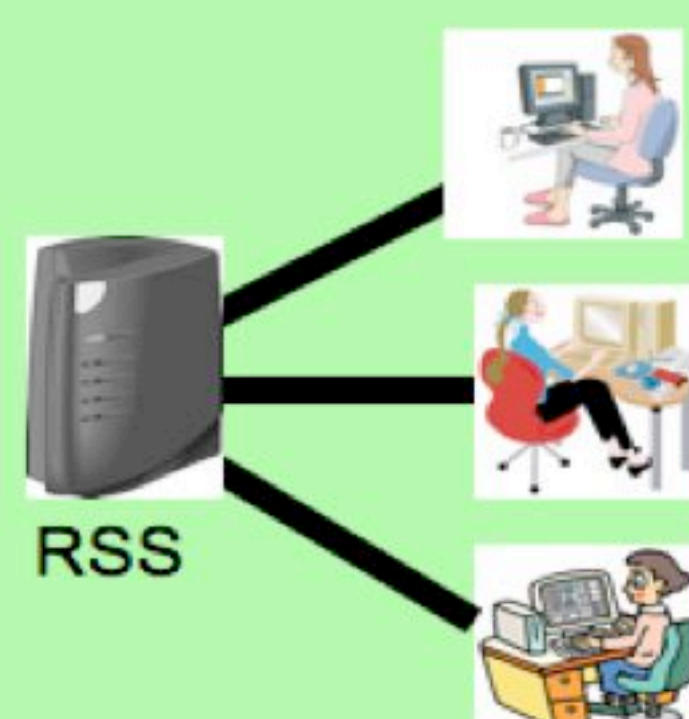


チームディスカッション



時間の有効活用

自動情報収集・発信



研究、生活に役立つ情報の
自動収集と自動発信

ISMS準拠のキャンパス共通認証認可システムの活用

ISMS: Information Security Management System

キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル

女性研究者支援推進ユニットホームページ開設
WEBアンケート実施中、SNS相談体制検討
遠隔会議試験運用

日本大学研究委員会 男女研究者共同参画専門部会 女性研究者支援推進ユニット



HOME

男女研究者共同参画
専門部会について

推進ユニットについて

日本大学の
女性研究者支援

イベント

活動状況

リンク

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」

キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル

女性がますます輝く大学へ



NEWS & TOPICS

2008/11/01(土) 【イベント】 私立探採7大学女性研究者支援シンポジウム 日本女子大学

日程: 2008年11月1日(土)
時間: 13:00~17:00 [終了後懇親会を開催します]
場所: 日本女子大学 目黒キャンパス 成瀬記念講堂

2008/11/02(日) 【イベント】 「女子高校生のためのCSTサイエンスセミナー」@理工学部

日程: 平成20年11月2日(日)
時間: 13:00-14:00
場所: 日本大学理工学部船橋校舎144会議室(理工学部船橋キャンパスウォッチング内)

2008/11/07(金) 【イベント】 第3回意識改革講演会 講師カナダ憲法先生

日程: 平成20年11月7日(金)
時間: 14:00-15:00
場所: 生物資源科学部 52講義室

2008/12/01(月) 【イベント】 「女性研究者支援モデル育成」事業等合同シンポジウム

日時: 平成20年12月1日(月) 11:00-18:00 懇親会 18:10-20:00
2日(火) 9:30-15:15 分科会 15:20-16:20
場所: 東京大学・鉄門記念講堂 本郷キャンパス医学部教育研究棟14F

2008/10/27(月) 【お知らせ】 8面のリーフレットが完成しました。

2008/07/01(火) 【お知らせ】 文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」

キャリアUPサポート

女性研究者の積極的採用と地位向上のために、実力を高め国際的視野を広げるキャリアUP支援を行います。

出産・育児 | 子育て | 介護

ライフイベント中でも継続・発展できるよう支援

継続研究

- 研究補助者配置
- メンタリング・コーチング
- 業績作成支援
- ネットワーク形成促進
- 研究費獲得戦略
- 国際化推進

女性研究者の
積極的採用
地位向上
実力向上

文部科学省科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成
「キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル」

**女性研究者キャリアUP
研究費獲得戦略講演会**

日 時：2008年10月3日（金）午後4時～6時
場 所：日本大学会館2階 大講堂（市ヶ谷駅徒歩1分）
東京都千代田区九段南4-8-24

講演1：塩満典子（お茶の水女子大学教授・学長特別補佐）
「女性研究者・若手研究者の活躍促進
—政府の競争的研究資金の活用に向けて—」

講演2：古川友和（日本学術振興会研究事業部 研究助成第一課
企画調査係 係長）
「科学研究費のしくみと申請書の書き方」

司会：野呂知加子（生産工学部・大学院総合科学研究科准教授）

男女および学内外を問わず、どなたでもご参加いただけます。

事前申込は10月2日（木）までに
申込先：女性研究者支援推進ユニット推進コアへ
E-mail: shien@nihon-u.ac.jp
当日参加も可能です。

主催：日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会/
女性研究者支援推進ユニット
<http://www.nihon-u.ac.jp/kenkyu/danjo/index.html>

本部

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」「キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル」事業

**女性研究者キャリアUP支援
キャリア啓発セミナー**

研究者を目指すあなたの
明るいキャリア設計を考えよう

第1回 平成20年10月9日 午後6時～午後8時（受付開始 午後5時30分）
会場：日本大学会館第2別館地下2階大会議室
（東京都千代田区五番町12-5）

第2回 平成20年10月10日 午後6時～午後8時（受付開始 午後5時30分）
会場：日本大学生物資源科学部本館3階31講義室
小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車3分
（神奈川県藤沢市亀井野1866）

講師：テンブスタッフ株式会社 山口 幸子 先生
（チーフコンサルタント/ハーマン・インターナショナル認定
ハーマンモデル・ファシリテーター）

セミナー内容

(1) 自分に合ったキャリアの探し方とは
(2) 「理系女性」が仕事を続けていくための“ちょっとしたコツ”の伝授
(3) 自分のキャリアと向き合おう

※ 希望者には、「ハーマン脳優勢度分析」を行います。この分析により自分
どのような分野での仕事・学業に力を発揮できるか知ることができます。

参加費：無料（各回とも先着50名募集）
参加方法：① 御名前（フリガナ）
② 所属学部・学科・学年
③ 連絡先 E-mail
④ 希望会場（第1回：日本大学会館・第2回：生物資源科学部）を
記載の上、下記 E-mail まで送付ください。
なお、参加の可否はメールの返信をもってかえさせていただきます。
申込締切日：平成20年10月5日（木）午後5時まで

申し込み・問い合わせ先：日本大学女性研究者支援推進ユニット推進コア・キャリア啓発セミナー係
E-mail: shien@nihon-u.ac.jp
TEL: 03-5275-9616
<http://www.nihon-u.ac.jp/kenkyu/danjo/index.html>

主 催：日本大学男女研究者共同参画専門部会 / 女性研究者支援推進ユニット推進コア

本部・生物資源

文部科学省科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成「キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル」事業

キャリアUP支援
英文論文作成支援講習会

日時：平成21年3月2日（月）午後2時～午後5時
場所：生物資源科学部41講義室（本館4階）
講師：William Daniel Stenson 氏（株式会社フォルテ代表取締役）

セミナー内容

- ・基本的な英文論文の書き方に関する基礎知識等に関する講義
- ・科学論文としての英文の執筆および投稿プロセスに関する説明
- ・参加者による抄録原稿作成（添削後、返却）

なお、講義は英語で行います。

対象：大学院生・研究生・学部生・教職員（男女問わず、ご参加いただけます。）
参加費：無料（先着順定員50名）

＜申し込み方法＞
① 件名「英文論文作成支援講習会申し込み・生物資源」
② 氏名（フリガナ）
③ 所属学部・学科（専攻）・学年
④ E-Mail アドレス（携帯電話およびフリーメールのアドレスは不可）
⑤ 電話番号
以上を記入の上、shien@nihon-u.ac.jp宛にメールでお申し込みください。
なお、参加の可否はメールの返信にてご連絡いたします。
申し込み締切日：平成21年2月25日（水）午後5時まで（定員になり次第締め切ります。）

問い合わせ先
男女共同参画推進委員会
委員 農芸化学科 熊谷日登美 TEL/0466-84-3946（内線2606）
幹事 教務課 近藤、笠原 TEL/0466-84-3811（内線2021・2026）

主催 日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会女性研究者支援推進ユニット
共催 日本大学生物資源科学部男女共同参画推進委員会

本部・生物資源・薬・生産工

女性医学研究者4名に1名の支援研究員配置し、メンタリングも行う

育児両立環境整備

育児支援事業を実施し、女性研究者が多様な働き方のできるワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境整備に努めます。

- 保育室整備の調査・検討
- 病児保育の調査・検討
- ワークシェアや短時間勤務などの検討



キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル



育児環境改善・WLB整備

- * 駿河台保育所問題連絡協議会 (H20 9月～)
第1回講演高橋昌里駿河台病院副院長小児科准教授(当時)
- * 保育ニーズアンケート実施予定
- * 薬学部卒後教育における一時保育実施(検討中)
- * 医学部に医師の短時間勤務・ワークシェア等を
検討するためのWLB委員会設置(H20 10月)
医師の短時間正規雇用等に関して検討
非常勤医師の雇用に関するアンケート調査



医学部にWLB検討委員会設置

保育ニーズアンケート調査について
原案を練り、次年度実施に向けて準備中

文部科学省科学技術振興調整費
女性研究者支援モデル育成「キャリアウェイ・ユニバーサル化日大モデル」事業



第8回意識改革講演会

平成 21年 1月 27日(火)

時間: 午後 6 時 45 分～午後 7 時 45 分

場所: 駿河台日本大学病院 3 階講堂 (参加費無料/事前登録不要)
(千代田区神田駿河台 1-8-13)

挨拶 日本大学副総長(研究担当)
日本大学医学部長
日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会長

片山容一 教授

講演 ポストン子供病院 Alice M. Wang 先生

演題「アメリカの女性医学研究者における
仕事と家庭の両立」
(逐次通訳あり)

※ 当日直接会場にお越しください ※

主催 日本大学研究委員会男女研究者共同参画専門部会
女性研究者支援推進ユニット

問い合わせ先

日本大学女性研究者支援推進ユニット/推進コア講演会係

E-mail: shien@nihon-u.ac.jp / TEL: 03-5275-9616

http://www.nihon-u.ac.jp/research/careerway/



米国における両立支援環境整備に関する講演会

システム改革加速プランの一つ前の「モデル育成」予算

日本大学の女性教員人数比率12.6%
若手研究者の女性比率が特に多い25%
女子学部生 29.0%（約2万名）
＝全国で最大の女子学生数
女子大学院生 24.8%（約900名）
女子学生と女性教員の比率向上に努力中